

東白石通信

東白石まちづくり実践会
とんぱくニュース
札幌市白石区本通13丁目南10-1
東白石まちづくりセンター内
TEL861-9262 FAX861-4369

◇ 年頭にあたって



東白石地区町内会連合会 東白石まちづくり実践会 会長 山中 忠典

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、希望に満ち溢れていることと存じます。

昨年は、皆様方には多大なご協力をいただき、29年度の計画も滞りなく推移してまいりました。—ありがとうございました—

特に、皆様のご協力により手作りで「東白石ふれあいまつり」を開催した事が大きな収穫でした。大人と児童が、いっしょになってふれあいまつりを楽しみました。また、白石区長さんもいっしょに子供達と玉入れをした事が、大変印象に残っております。

今年も町連・実践会、そして各種団体が連携して、この東白石地域が安心して安全な地域として住める街づくりをしていきたいと考えております。

むすびになりますが、会員皆様方、それぞれが一つ年令を重ねました。無理をせず、健康な体で社会奉仕を続けていければ、近づく認知症を遠くへ飛ばせると思います。たくさんの人達と話をし、笑い、体を動かす事が何よりです。

皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

◇ 開校70周年を迎えて



白石中学校

校長 越田 公美

昭和22年、白石村立白石中学校として新たな一歩を踏み出した本校も今年70周年を迎えることができました。

現在生徒たちは、日々さわやかな挨拶を交わし、わきまえのある望ましい態度で学校生活を送っております。その生活は平和そのものであり、そこには知徳体の調和のとれた人間の姿があります。これもひとえに、これまで本校を支えてくださった地域、保護者の皆様のおかげであると強く感じています。

この白石の地で生徒たちの笑顔あふれる学校であり続けられるよう、先人たちの礎をしっかり心にとめ、一層努力を重ねてまいりますので、本校の充実・発展のため、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◇ 開校50周年記念式典・祝う会を終えて

東白石小学校 校長 二宮 昌枝

昭和42年12月に開校した本校は、今年開校50年の節目を迎えました。第2本郷地区小学校として本郷小学校から411名、大谷地小学校から125名、計536名でスタートしてから50年を迎えますが、地域の皆様には開校時から一貫して子どもたちの育ちを見守っていただいております。

東白石小と言えば、「さけ学習」というように、毎年さけを飼育して豊平川に放流しています。「さけ学習」を通して子どもたちは、「命を大切に作る心」や「自然を大切に思う気持ち」を学んでいます。また、異学年の交流やあいさつ運動などこれからの生活でも大切なことをしっかりと学んでいってほしいと思っています。

地域の皆様には、登校時の見守りなど、いつもあたにかい心で、学校の取り組みを応援していただいておりますことに、感謝申し上げます。

今後とも子どもたちの確かな育ちを見守り、応援していただけますよう重ねてお願い申し上げます。



開館 30 周年～ありがとうのキセキ

札幌市東白石児童会館 館長 川添 晶

日頃から児童会館の活動にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

札幌市東白石児童会館は1988年(昭和63年)3月19日に東白石連絡所(現:まちづくりセンター)と東白石会館の複合館としてオープンし、今年度で30周年を迎えました。この節目に歴史を振り返ることをとおして、現在、児童会館が安全で楽しく充実した環境で活動させて頂けているのは、礎を築き、特段のご配慮をいただきながら支えてくださっている地域関係機関や地域住民皆様のお陰であること、そして多くのボランティアや保護者の皆様のご理解・ご協力の下、様々な日常活動及び連携事業を積み重ねてきた賜物であることを実感しております。この30年、様々な形で携わってくださっている皆様に心から敬意を表し、厚くお礼申し上げます。

過日、11月25日(土)に「札幌市東白石児童会館開館30周年記念事業～ありがとうのキセキ」を行い、多数の皆様にご来場いただきました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

タイトルにある「キセキ」には3つの意味を含めました。☆これまで積み重ねてきた30年の歴史としての「軌跡」。☆人と人との出逢いや巡り合わせによる「奇跡」。☆これからの未来においても一人ひとりが「輝石」であってほしいことへの願いを含めました。

これからも東白石児童会館は「児童会館と地域との連携によるまちづくり事業(こらぼDEトンパーク)」などの諸活動をとおして東白石地区町内会連合会とのつながりを大切に、あらたな歴史を刻んでいきます。地域の皆様方と一緒に子どもたちの健やかな成長を支援し、子育て支援活動の拠点として、これまで以上に地域に根ざし、笑顔があふれる会館運営に努めていきたいと存じますので、今後ともご指導・ご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。



～開館30周年記念事業の様子～



アニバーサリーケーキのリボンを引っ張ると…



中からお祝いの言葉とバルーンが!!
来場者から大きな歓声が上がりました。

笑顔がいっぱい！東白石ふれあいまつり

東白石地区町内会連合会総務部長 坂本 信一

10月8日に、東白石会館で開催された「第2回東白石ふれあいまつり」も前年同様、大盛況となりました。前は若き力と創造力あふれる大学生の皆さんによる企画・運営でしたが、今回は全くの素人の私たちが一から手作りの作業となり、不安と戸惑いからのスタートとなりました。しかし、東白石地区町内会連合会、東白石まちづくり実践会、白石区児童会館の方々と「子どもたちの笑顔、そして大人たちの笑顔が一つになる交流」を作り上げたいとの目標に向かって、工夫に工夫を重ね、より良い企画となるように努力して参りました。

当日は、気温21度にもなる大晴天の中での開催の運びとなりました。準備したかき氷やポップコーンをおいしそうに頬張る子どもたちの笑顔がとても微笑ましく感じられ、また、老若男女問わず本当に多くの方々にお越しいただきました。心より感謝申し上げます。

様々な企画の中でも、特に小学生や幼児たちの発表には、会場の皆さんからひととき大きな拍手と笑顔が送られていました。未来を担う子どもたちへ希望ある地域作りを更に進めていきたいと思えます。

東白石地区の町内会には、様々な特技を持たれている方が多くいらっしゃいます。フラダンス、太極拳、歌、手品等、本当にすばらしいすてきな時間を共に過ごさせて頂きました。

2階喫茶コーナーでも、「女性部の方のおもてなしとすてきな笑顔に、つつい長居をし、コーヒーをお替わりしました」と話している方もおりました。

今回、大盛況に終わられたのも、企画運営に当たられた役員の方々と来場された地域の方々のご協力の賜です。引き続き、今後ともよろしくお願い致します。



みんなで玉入れ競争。区長も参加



児童会館の子どもたちの「にじりんダンス」



東白石小学校合唱団のすてきな歌声



暁町内会メンバーの華麗な日本舞踊



大盛況のかき氷。作る方も汗だく

～ シルバーサロンを開催 ～

旭町内会 会長 山中 忠典

私達の町内会では、お年寄りの方々が楽しく集って気兼ね無く話し合える場所として、市の助成で会館をリフォームし、多目的室を作りました。

ここを利用して、「シニアふれあいサロン」を作り、朝10時から午後2時まで毎週金曜日(第2金曜日除く)に集ってもらい、おしゃべりをし、昼食を食べて遊んで帰ってもらう様な事で、孤独を無くしていくことを目的に運営しております。利用される皆さんに大変喜ばれております。

その外にも月1回第2金曜日午前10時から、0～2才児を対象にした「ぴかぴかサロン」としても利用していただき、お母さんから喜ばれております。

また、ここは、子供達が夏休みや冬休みに勉強部屋として使ったり、大人の遊び場としても利用されております。



シニアふれあいサロン。おいしい食事で会話も弾む

第42回白石区ふるさとまつり

東白石通信特派員 媚山 一夫

白石区ふるさと会主催「第42回白石区ふるさとまつり」は平成29年7月15・16日、白石区役所新築移転に伴い自然豊かな「川下公園」で開催。公園を囲む樹木と園内の芝生が緑に染まり、気温34度と絶好のまつり日和となった初日は、露店29とフリーマーケット等が並び、多彩な催しと共にカナルでの水遊びが人気で、広い公園も人の波で埋まりました。2日目は途中から激しい降雨で中止となり、両日で延べスタッフ200名、16,000人余の来場者でした。

準備は新会場の利便性・来場者数など総てが手探り状態からの出発で、2日間を通じ開催成功への手掛かりを得ましたが、課題も残り、次回に向け貴重な体験となりました。宮城県白石市への震災支援金は65,658円となりました。



ステージでさまざまな発表が



東白石こらぼDEトンパークも出店

編集後記

今回は、開校70周年を迎えられた白石中学校、開校50周年を迎えられた東白石小学校、開設30周年を迎えられた東白石児童会館のご紹介を中心に、恒例の町内会訪問、地域の行事のご報告等の内容でお届けします。皆様からの情報・ご投稿をお待ちしています。